

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：鶴見なのはな保育園	種別：地域型保育事業
代表者氏名：高野 薫	定員（利用人数）：12名 （利用者11名）
所在地：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央5-27-8 グレイス鶴見第3 1階	
TEL：045-642-7731	ホームページ： <a href="https://www.centerjp.com/tsurumi/">https://www.centerjp.com/tsurumi/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社センター	
職員数	常勤職員：5名 非常勤職員：8名
専門職員	園長：1名 保育士：8名
	准看護師：1名 調理師：1名
	調理員：2名
施設・設備の概要	保育室：1室 トイレ：2箇所
	調理室：1箇所 事務室：1室
	園庭：なし

③ 理念・基本方針

経営理念

- 子どもの最善の利益を第一目的とし、最高水準の保育の質を追求し、維持します。
- 保護者や地域社会から信頼される保育所を運営します。
- 質の高い保育所の運営を長期的に実施できる体制を構築します。

基本方針

- 創意工夫により、常に改善を行い、保育の質を継続的に向上させます。
- 経営力と創意工夫により、保育の質と維持・向上とスリムな経営体質を両立させます。
- 従業員がストレスなく、長期に勤務できる労働環境を整備します。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園の保育目標を「明るく健やかな子ども」「感性豊かな子ども」「思いやりのある子ども」と掲げ、保育所保育指針に基づき、子どもの最善の利益を第一に考えた保育を行っています。鶴見なのはな保育園が家庭の次に安心して過ごせる場所であるよう努めています。そして家庭との連絡を密にしながら、お子さんの成長を共有し、保護者と共に成長を喜び合える関係でありたいと思っています。

- ・縦割り保育…1. 2歳児は学年に関係なく一緒に過ごしています。異学年が関わることで思いやりの気持ちが芽生えたり、刺激を受けたりしています。
- ・地域との交流…夏には町内会主催のお祭りに参加し、地域の方々と一緒に山車を引いたりしながら町内をまわったり、ハロウィンでは仮装した可愛い姿を近隣の店舗等に見せに行ったり、勤労感謝の日には近くの消防署派出所に感謝の手紙を持って訪問

しています。また、公園での戸外遊びや図書館に絵本を借りに行く経験等から公共施設の利用マナー等も幼児なりに学んでいます。連携園との交流も行っており、園庭開放に参加し、遊びを通して交流を深めています。

・絵本貸し出し…週末に1人1冊、絵本の貸し出しを行っています。絵本を通して週末に親子で向き合うきっかけ作りになればと始めました。また、子どもたちの興味の幅を広げてもらいたいという思いもあり、職員のお勧めの絵本を紹介し、貸し出しています。

・誕生会…月毎ではなく、その子の誕生日を祝います。希望があれば、保護者にも参加していただき、日頃の保育園での様子を見てもらっています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年6月26日（契約日）～ 令和6年1月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)小規模園の特徴を生かして子どもの成長を見守っています

小規模保育園、ワンルームの特徴を生かし、年齢、月齢だけではなく、子どもの心身の育ちに配慮して、一人ひとりに手厚い保育を実施しています。職員は子どものさりげないしぐさや表情から、その気持ちに共感して、時には代弁して子どもの安心感に繋げています。園全体で子どもの情報を共有することで、一人ひとりの子どもへの保育に繋げています。そして、肯定的な言葉がけを心がけ、子ども自身が自分は大切にされているという自己肯定感が育まれています。園全体で子どもの成長を見守っています。

2)園の事業計画の一部を保護者と共有して実施できるように取り組んでいます

園では、今年度から数年かけてSDG'S（持続可能でよりよい世界を目指す17の国際目標）の活動を始め、園なりの取組を進めています。そして、子どもへの取組方を解説したプリントを保護者に配付しています。さらに、家庭でもできる子どもと一緒に出来る取組を進めています。地球規模の課題に、自分たちが出来る取組を園、保護者と共に考え、触れ、共有できる機会を設けています。

3)絵本を通じて、親子のコミュニケーションを豊かにできるように工夫しています

園には多くの絵本があり、本の貸し出しをしています。絵本を通じて子どもが好きなものだけではなく、色々な事に興味を持って視野を広げる事や、情緒の発達に役立てています。そして、貸し出した絵本の読み聞かせを保護者にしてもらうことで、親子のコミュニケーションが深まる機会になっています。さらに園から保護者に向けて保護者の思いに沿った本をお勧めするなどして、親子の支援にもつなげています。訪問時、図書館職員が来園して本の読み聞かせや手遊びをし、子どもたちが集中して楽しんでいる姿が見られました。

4)虐待防止に関する措置を保護者に明示することを期待します

虐待など権利侵害の禁止や児童虐待防止法を遵守することなど、保護者に対して十分な説明が行われていません。虐待とは何か、権利侵害とは何か等を重要事項説明書などの配布物に明示することが望まれます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園4年目を迎えた今年度、初めての第三者評価受審となりました。

この第三者評価受審を通して、保育の運営、保育の見直しや振り返りの機会を与えて

いただき課題点や改善点を見つけることができました。  
その中でも評価いただけた点は、職員の励みにつながりました。今後も園長を中心とした職員間の連携を大切に更なる保育の質の向上に努めていきたいと思えます。  
最後になりましたが、利用者アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、適宜ご指導や相談に乗って下さった株式会社フィールズの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

- ⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり